

輝け!! 明日へ向かって

2025年1月31日発行
社会福祉法人 抱民舎

〒036-1312 弘前市大字高屋字安田735番地の3
TEL:0172-82-6060 FAX:0172-82-6061
<https://houminsya.com/>



皆さまお健やかに新春をお迎えのこと
と、心よりお慶び申し上げます。
いよいよ令和七年のスタートです。
本年も抱民舎の各事業所へのご理解・
ご支援・ご指導を、今後ともよろしく、お
願い申し上げます。
昨年一月一日の「能登半島地震」の発
災による悲惨な災害状況がテレビに映し
出され、驚愕の新年の幕開けとなりました。
被災されました皆様には、衷心よりお見舞
いを申し上げますと共に、早期の復興実現
と皆様の平穏な日常生活の実現をお祈り
申し上げます。
さて、当法人は本年三月で「創立二十五
周年」を迎えることができますことは、ひ
とえに法人各事業所を利用される皆様方、
保護者会の皆様方、法人役職員、並びに後
援会会員の皆様方や地域の皆様方の温か
なご理解とご支援に依るものと厚く御礼
を申し上げます。
十二月の後半にあうんでは、利用者さん
たちも杵を持ち、「よいしよ」の掛け声の
もと餅つき体験をしました。今は中々見る
ことの少なくなった杵と臼の餅つき会、た
くさんの笑顔を見ることができました。

餅つきや杵の音響き年明るく

コロナ禍の落ち着きの中、昨年もご家族と
もどもバス遠足を実現することもでき、楽
しく社会参加しながら、地域社会の雰囲気
になじむ機会も増えてきました。ハンディ
キャップを社会の中で活かすこと。それは
地域の方々と親しく接し、一人ひとりがそ
れぞれの生きる姿をもって、社会の方々の
意識の生産活動を提示する力となること
でしょう。
デンマークのことわざで「見えないと思
うことはない」を、今年も皆で胸を張って
笑顔で社会参加して行きましょう。

【理事長 成田 春洋】



成人のお祝い



今年、であいの家あうんから、
成人を迎えられる下山健瑠さん
を紹介いたします。
健瑠さんは、小学生の頃からあ
うんの日中一時支援や、ワラハン
ドクラブ・キキを利用され、高校
卒業後は、毎日元気にあうんに通
所されています。トーマスの絵本
がお気に入りです。いつもニコニコ
と人懐こい所が印象的な健瑠さ
ん。二十年の間、ご両親からたく
さんの愛情をいっぱい受けて、今
年、成人を迎えられます。人間は
一人ひとり誰かの大切な人であ
り、すべての人が必要とされる存
在です。これからも、その素敵な
笑顔を保ちたいと思います。新成人おめ
でとうございます。(I・T)

岩木ふれあいボランティア ～のれぞれ雪とろけ隊～雪おろし



皆様、毎日の雪かき
大変お疲れ様です。
大 岩木ふれあいボラン
ティアでは、市から依
頼を受けた雪おろしが
困難なご自宅を訪問、
雪下ろしのお手伝いを
しています。昨年は、
雪がほとんどない年で
したが、今年はこの大
雪：年明け前に早速、
最初の出動をしていま
す！
皆様から暖かい感謝
の気持ちを感じていま
す。今年は大変な年にな
りますが、地域で助け
合って乗り越えてい
けたらと思います😊
(H・M)



「自然災害発生時の避難」について

自然災害は急に起こります。日頃からの備えや緊急時を想定した訓練等は大事です。特に障がいをお持ちの方やそのご家族にとって緊急時どうしたら命が守れるか不安に思われる方も多く、家族以外のサポートが必要な場合があります。弘前市では災害時の避難支援を必要としているものの、まだ申請に至っていない方が少なからず潜在していると思われる為、十月末から順次「個別避難計画作成・関係者への情報共有等に関する意向確認書」が対象者宅に直接送付されています。意向確認書は約二千五百名が対象で、そのうち計画を作成する意向が示された方について、福祉専門職による計画作成支援依頼が各相談支援事業所にも来ています。計画作成支援の対象者は約五百人（全体の二割）の見込みです。簡単にお伝えすると「障がいのある方やその家族だけでは避難出来ない方に、地域の方等がサポートに入り、迅速に避難できるようにするものです。その為には個人の情報や逃げる場所、荷物、避難経路等あらかじめ計画を立てて情報共有してほしいけれど、避難計画を立てるのは難しい事もあるので担当の相談支援事業所で手伝ってもらえるように弘前市から事業所に依頼しておきますよ。」という感じです。

災害時の避難を必要としている方で相談支援事業所をサポートセンターconnaにしている方はすでにとりまとめ、二十一名の方の代行申請済です。しかしグループホームに入居された等で自宅から居場所の変更された場合は入居された場所での避難になる為、サポートを取り下げた方もいました。希望される中には対象になっても親戚や友人の安全な場所に避難を受けられる方は必ずしも避難計画が必要ない場合もあります。令和八年三月末までに対象者の計画作成が完了予定です。何かお困りの事やご希望などありましたら、モニタリング期間以外でも、随時利用事業所か相談支援事業所までお問い合わせ下さい。

(N・N)

新人職員紹介

♪ 新人職員に同じ質問をしています♪

質問(一) * 抱民舎に入職して驚いたこと
質問(二) * 抱民舎に入職してよかったと思うこと
質問(三) * なりたい自分

であいの家あうん 生活支援員

安田 祐一



答え(一) * 職員がスピーディーにあうんの呼吸で支援していることです。とても心強く思いました。
答え(二) * 利用者の皆様と職員に出会えたことです。
答え(三) * 利用者様が安心して楽しく過ごせるよう、信頼される支援員になりたいです。

であいの家あうん 調理員

石岡 美華子



答え(一) * 提出書類が多いことです。福祉関係は初めてですが、利用者様・職員、みなさん楽しそうだと思います。
答え(二) * 明るく優しい人が多いことです。
答え(三) * 少しでも誰かの役に立つ人です。

総務部 事務員

角谷 善一



答え(一) * 職員が一生懸命、業務に取り組んでいることです。
答え(二) * 間接的ですが、福祉関係の仕事に関わることができたことです。
答え(三) * 微力ですが、親切な対応を心がけていきたいです。

総務部 事務員

工藤 希望



答え(一) * 総務部の業務の大きさです。
答え(二) * 私は抱民舎へ二度目の入職になりますが、みなさんの変わらない笑顔を見られたことです。
答え(三) * 何でもできるスーパー事務員になります。

☆ よろしく願いいたします☆